

12 念仏石・道標(川入)

川入の觀音堂・前堂 (川入578)



観音堂のあらまし

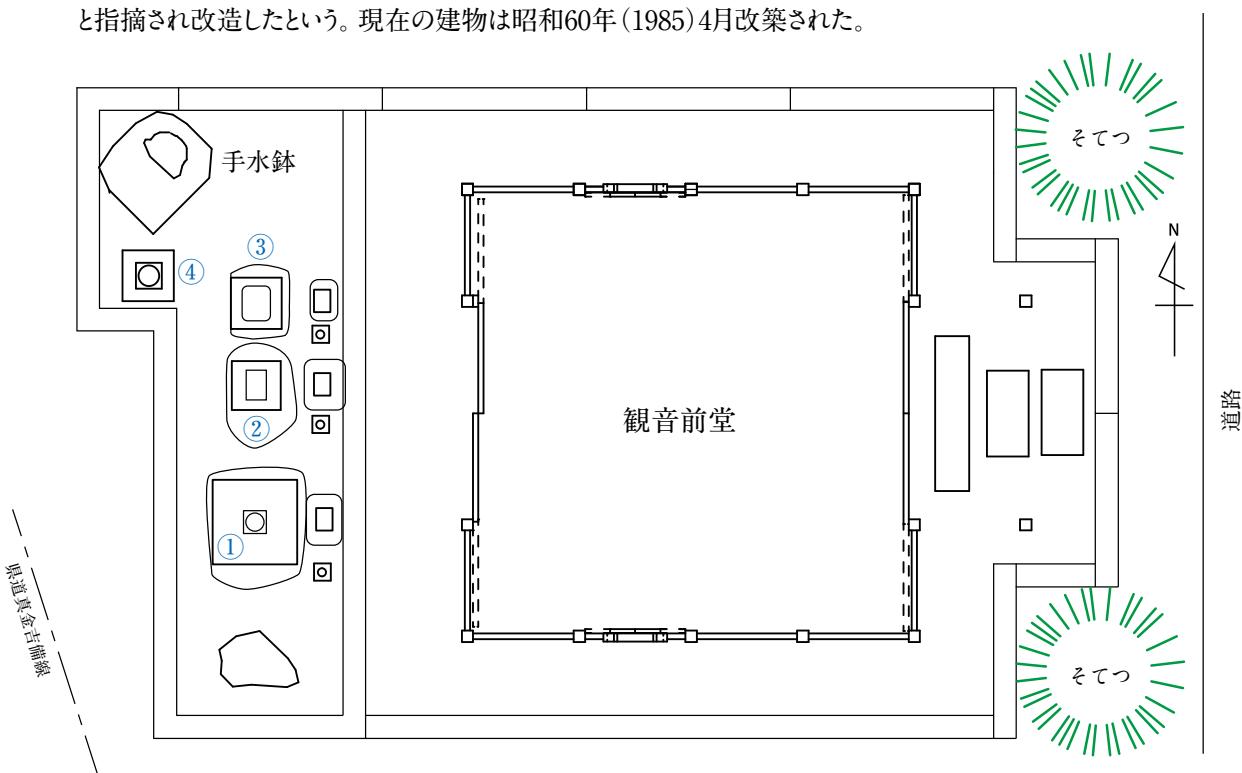
所在地 岡山市北区川入577-2他

ここには観音堂、薬師如来像、弘法大師像が安置されている。

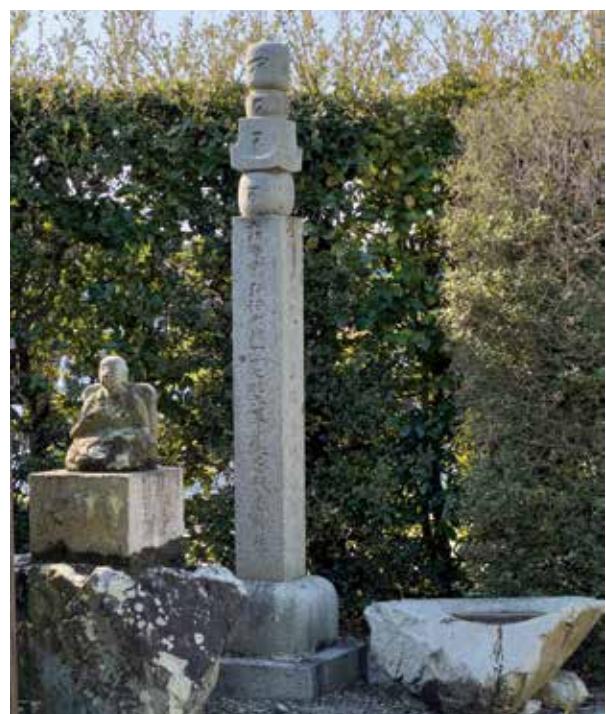
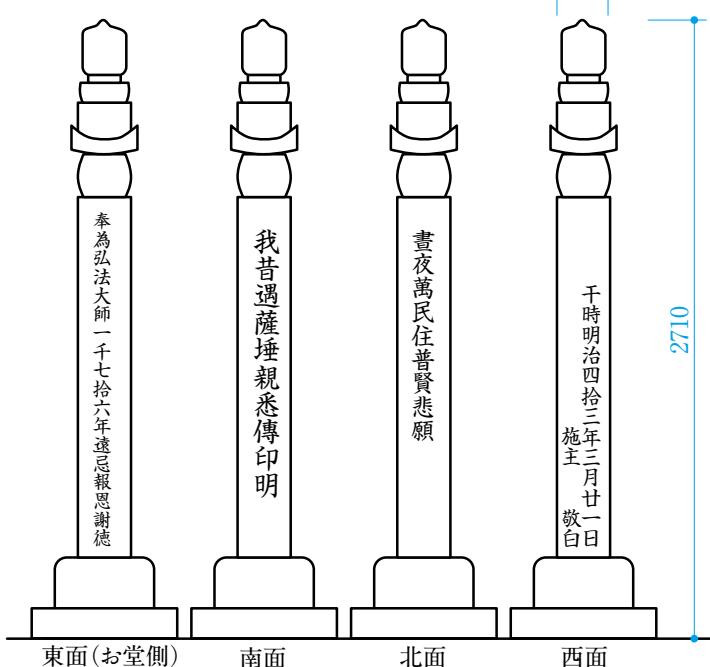
観音前堂

この観音前堂は明治39年(1906)西国33カ所一番札所紀伊那智山青岩渡寺より如意輪観音菩薩を勧請した。

観音堂の西面には一間半の中段の窓があった。明治43年(1910)陸軍大演習の際、惣爪の御立見台上の明治天皇を中段の窓から直視するのは「不敬に値する」と指摘され改造したという。現在の建物は昭和60年(1985)4月改築された。



④御遠忌塔





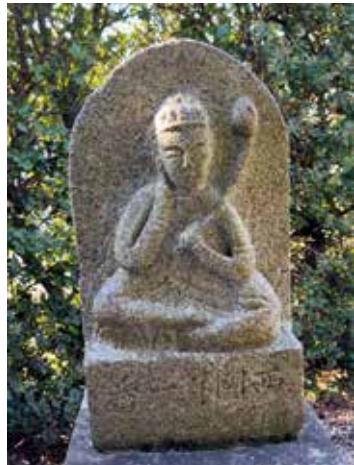
①薬師如来像

明治40年(1907)3月、出雲一畠薬師より薬師如来を勧請した。この地は土地が河川水面から僅かに高いところで「川田」と呼ばれる低湿地で雨季にはたびたび水没した。それを避ける為石仏の基台は60cm程度高く上げてある。

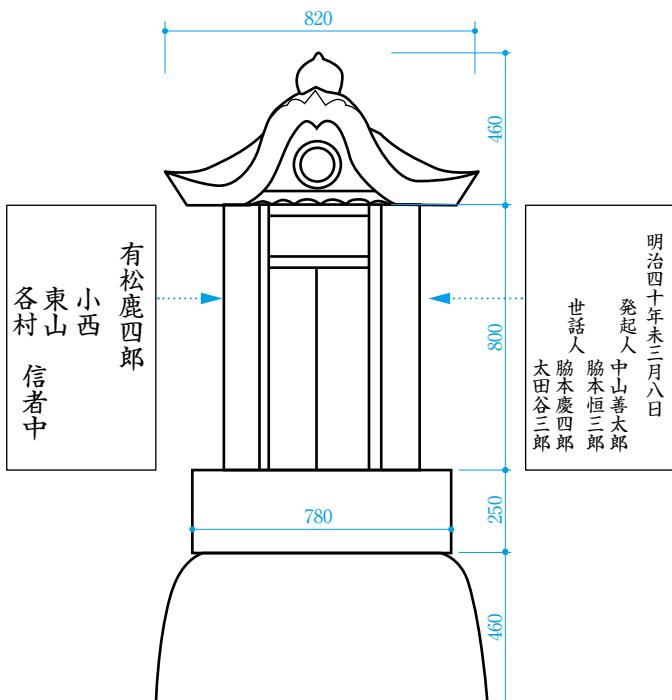
②弘法大師像 ③観音様 ④御遠忌塔

この石像は小西の熱心な弘法大師の信者が、その家の護り本尊として祀っていたものここに安置したものと言われている。

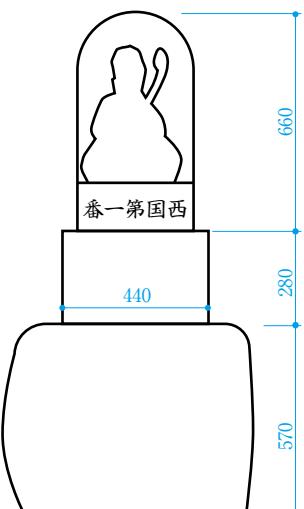
- ・明治41年(1908)8月、弘法大師像を建立。
- ・明治43年(1910)3月、弘法大師千七十七年御遠忌塔を建立。
- ・明治43年「神社合祀令」により、氏神様が村々から吉備津宮へ合祀されたので、身近な信仰の対象として「観音様」、お大師様を勧請したのではないかと考えられる。



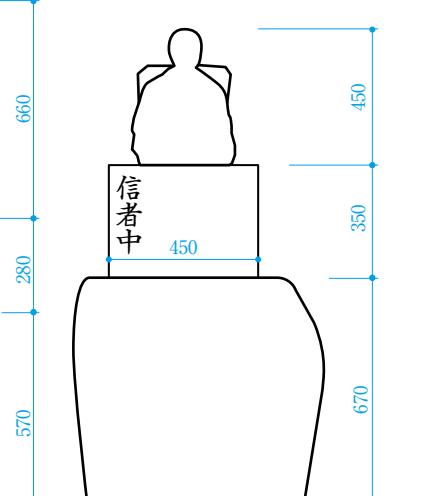
①薬師如来像



②弘法大師像



③観音様



みたちばし 御立橋について

この橋は庭瀬郷、板倉郷の境界にあり、ここで縁者を見送ったのでこの名がある。

昭和になって架け替えられ、親柱は撤去され御崎神社に移設保存されている。(脇本三時氏 談)



小西の⑦御崎神社に移設された御立柱

享保の地蔵尊

観音堂北側の共同墓地に地蔵菩薩がある。享保五(1720)年の設置とある。天明年間の墓石もあり大飢饉の被害者を供養したものであろう。



享保の地蔵尊

注連柱・道標

角に道標があり「いなり道」、「きびつ神社道」とある。

